

都 市 整 備

道 路 の 現 況
除 雪
公 営 駐 車 場
駐 輪 対 策
道路インフラ長寿命化
山形駅前地区消雪道路整備事業
さくら並木更新事業
道路・橋梁新設改良
橋 梁 長 寿 命 化
河 川



道 路 の 現 況 (道路維持課)

市 道 の 現 況

(平成31年4月1日現在)

総延長	総面積	舗 装 道		舗 装 率	
		延 長	面 積	対 延 長	対 面 積
1,336,409.5m	8,990,204.8㎡	1,278,898.2m	8,872,085.3㎡	97.19%	98.69%

除 雪 (道路維持課)

冬期間における除雪活動を迅速かつ適切に行うことにより、雪害からの道路交通と市民生活の確保に務める。通常、除雪本部をまちづくり推進部道路維持課内におき、市道総延長1,335.4kmのうち除雪車両の能力、道路事情等を考慮し、前年度と比較して0.1km増の約1,215.2km（除雪率91.0%）を指定し実施した。路線の選定に当たっては、主要幹線道路、バス路線、地域的に主要な道路及び公共的施設への道路を主体とし、指定路線以外の市道については、除雪量を勘案しながら道路積雪状況に応じて、順次除雪作業を行った。また、除雪車の運行状況の把握や効率的な管理を行うため、除雪車運行管理システムを構築し運用を開始した。

平成30年度除雪車数及び実績額

- 市の保有除雪車 11台
- 委託除雪車（96社） 294台
- 実績額 5億5千6百万円

平成30年度 除雪車運行管理システム実績

- 業務名 山形市除雪車運行管理システム構築及び運用業務
- 運用開始 平成30年11月

公 営 駐 車 場 (道路維持課)

料金は平成31年4月1日現在

駐 車 場 名	山 形 市 香 澄 駐 車 場	山 形 市 中 央 駐 車 場	山 形 市 大 手 町 駐 車 場
所 在 地	香澄町二丁目9番46号(市民会館地下)	旅籠町二丁目2番13号	大手町1番61号
延 べ 床 面 積	4,968 ㎡	9,593 ㎡	5,854 ㎡
構 造	鉄筋コンクリート造 地下1階	鉄骨造 地上6階 7層	鉄筋コンクリート造 地下1階
形 式	自 走 式	自 走 式	自 走 式
収 容 能 力	141 台	425 台	182 台
工 事 費	301,866 千円	1,222,767 千円	1,162,745 千円
工 期	昭和47年5月着工 昭和48年3月完成	昭和58年12月着工 昭和59年10月完成	昭和60年7月着工 昭和61年3月完成
供用時間	入場時間 午前7時30分から午後10時まで 退場時間		
駐車料金	最初の1時間 250円 30分増すごと 100円 夜間駐車 660円 全日定期 14,240円 昼間定期 9,960円 夜間定期 8,530円	250円 100円 660円 17,800円 11,880円 10,380円	250円 100円 660円 14,240円 9,960円 8,530円
駐車利用実績 (平成30年度)	総駐車台数 51,074台 1日平均 140台	総駐車台数 376,869台 1日平均 1,033台	総駐車台数 46,689台 1日平均 128台

駐 車 場 名	山 形 市 済 生 館 前 駐 車 場	山形駅東口交通センター駐車場	山形駅西口駅前広場駐車場
所 在 地	七日町一丁目3番1号	香澄町一丁目16番34号	双葉町一丁目509
延 べ 床 面 積	13,088 ㎡	13,771 ㎡	386 ㎡
構 造	鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造 8階 6層	鉄骨造 4階 5層	路上 平面
形 式	自 走 式	自 走 式	自 走 式
収 容 能 力	435 台	500 台	12 台
工 事 費	2,015,973 千円	3,713,532 千円	—
工 期	平成5年6月着工 平成6年10月完成	平成5年6月着工 平成6年7月完成	—
供用時間	入場時間 午前0時から午後12時まで 退場時間		
駐車料金	最初の1時間 300円 30分増すごと 100円 夜間駐車 -円 全日定期 20,960円 昼間定期 12,050円 夜間定期 -円	(最初の30分まで) 200円 (30分増すごと) 100円 -円 17,810円 11,880円 10,250円 (通勤定期) 10,250円	(最初の30分まで) 無料 (30分を超えて1時間まで) 400円 (20分増すごと) 100円
駐車利用実績 (平成30年度)	総駐車台数 399,929台 1日平均 1,096台	総駐車台数 309,516台 1日平均 848台	総駐車台数 110,267台 1日平均 302台

なお、飲酒運転対策に係る長時間駐車割引として、山形駅東口交通センター駐車場は普通駐車料金の上限を24時間まで1,200円とし、中央駐車場では夜間駐車的时间帯を前後に延長（17:30～翌8:30、香澄、大手は21:30～翌8:00）している。



駐 輪 対 策（道路維持課）

1 山形市自転車等放置防止条例の制定及び放置禁止区域の設定

歩行者の安全と都市美観を保つため、山形市自転車等放置防止条例を平成6年6月に制定し、10月より施行した。

また、山形市自転車等駐車対策協議会を設置し、協議会から放置禁止区域設定の答申を受けて平成7年4月1日に放置禁止区域を設定し、放置禁止区域看板の設置及び市民へのPR、啓発活動を展開している。

なお、平成10年4月1日、平成13年4月1日、平成25年7月1日、平成29年1月1日に山形駅周辺の放置自転車禁止区域を拡大している。

2 放置自転車等の撤去と整理

山形市自転車等放置防止条例に基づき、山形駅東口及び西口の禁止区域及びその他の区域の放置自転車等の撤去を実施した。また、併せて山形駅周辺、七日町大通り周辺及び北山形駅周辺の自転車等の整理を行っている。

平成30年度実績 撤去台数 791台 所有者への引渡し 209台

道路インフラ長寿命化（道路維持課）

社会資本である道路インフラは、高度経済成長期に集中的に整備され、建設後の経過年数から、今後急速に老朽化が進行することが見込まれている。地域の安心・安全を支えるという社会資本の最も重要な役割を果たす道路インフラについて、従来の事後保全型から予防保全型へと政策転換を図り、時代の要請に合った計画的・効率的・効果的な維持修繕・更新等を行っていく。

1 道路ストック修繕事業

道路の舗装及びトンネルについて、老朽化に起因する事故や災害等の防止と適切な維持管理を図るため、平成26年度に道路の舗装及びトンネルの老朽化の現状把握を目的に『道路ストック総点検』を実施した。また、通常点検により門型式道路標識についても点検を行った。平成27年度以降、インフラの損傷状況・危険度に応じて、補修・修繕など必要な対策について交付金を活用し、道路の舗装及びトンネルの長寿命化を実施していく。

H26 点検項目		調査内訳	
道路ストック総点検	路面性状調査	幹線又は幹線に準ずる路線	210km
	トンネル点検	べにばなトンネル	1,971m
		大森トンネル	343m
通常点検	道路標識	門型式	3基

路面性状基礎調査…幹線又はそれに準ずる路線について、舗装のひび割れ・わだち掘れ・平坦性など道路舗装の状態を把握。

道路トンネル点検…高所作業車による近接目視、打音検査、触診を行い、トンネル本体の変状、付属物等の取付け状態の異常などを把握。

平成27年度に『山形市道路舗装長寿命化修繕計画』を策定し、交付金を活用し道路舗装の長寿命化を実施していく。

平成27年度 計画の公表及び事業着手（委託4路線・工事2路線）

平成28年度以降 計画的に詳細設計及び・修繕工事を実施。

2 市道照明灯長寿命化事業

市道照明灯の機能確保及び老朽化対策として、計画的・効率的な維持修繕・更新により長寿命化を図る。併せて、LED化を推進することで、メンテナンスコスト及び使用電力の削減を図る。

平成29年度に策定した「山形市道路附属物（照明灯）施設整備計画」に基づき、市道照明灯の修繕・更新工事を実施していく。

平成29年度 計画策定

平成30年度 点検調査、修繕工事（66基）、更新工事（6基）

令和元年度以降 点検調査、修繕・更新工事を実施

3 消雪設備更新事業

市道の道路消雪設備において、施設の老劣化に伴い機能低下又は機能不全となっている箇所の更新を図る。

対象路線

山形休暇センター線〔車道:散水式 L=173.2m A=1,212.4㎡〕(S55完成)

江俣銅町線〔車道:散水式 L=260m A=1,820㎡〕〔歩道:無散水式 L=220m A=440㎡〕(S57完成)

千歳ヶ丘1号線〔車道:無散水式 L=54.7m A=283㎡〕(H2完成)

平成30年度 調査設計(山形休暇センター線、江俣銅町線、千歳ヶ丘1号線)を実施

更新工事(山形休暇センター線、江俣銅町線)を実施

令和元年度以降 更新工事を実施

4 道路側溝修繕事業(道路側溝重点整備事業)

側溝や水路は、雨水や路面排水等を流すとともに、溢水防止による災害発生の抑止効果の向上を図る機能を有するものであり、安心安全な都市機能の保全を目的とし整備促進を行っている。しかしながら、大雨等において面的に浸水被害が発生する路線があるため、この解消を図る目的で重点路線を決め整備を行っていく。

平成30年度 山形市側溝整備計画策定

令和元年度以降 工事を実施

山形駅前地区消雪道路整備事業(道路維持課)

市街地においては、冬季積雪時の歩行者の回遊性を高める路線、商業振興を図るために必要な路線、冬期間歩行者の安全及び快適性が確保できない路線、また、都市計画道路に接続する道路では、街路事業の進捗状況に合わせ整備が必要となる路線などを検討し、道路の無散水消雪化を進めている。

当地区は山形駅から飲食店及び市民会館を結ぶ区画であり、山形市の玄関口といった面を有している。しかし、冬期間においては路面凍結により転倒する方々が多く、特に雪道に不慣れた観光客に顕著で非常に危険な状況となっている。そのため、市民はもとより、県外からの観光客、飲食店街に来られた方々などが、安全・安心に通行できるようにするため、無散水消雪道路の整備を行っていく。

事業内容

事業区間 市道駅前9号線ほか5路線

事業概要 施工延長 680m 無散水消雪面積 3,430㎡

平成25年度 地元関係者への説明会を実施

平成26年度 路線測量及び道路概略設計を実施

平成27年度 詳細設計を実施

平成28年度 消雪用熱源さく井工事

平成29年度 消雪道路整備工事、消雪用熱源さく井工事

平成30年度 消雪道路整備工事、消雪用熱源さく井工事

令和元年度以降 消雪道路整備工事、消雪用熱源さく井工事



さくら並木更新事業(道路維持課)

市道馬見ヶ崎線のシンボリック街路樹であるソメイヨシノが、樹齢約50年に達しており、樹勢の衰退による腐朽が進行しているため、桜並木の保存を目的に計画的な樹木更新を行う。

対象路線 市道馬見ヶ崎線(ソメイヨシノ 270本)

平成30年度 樹木調査、基本方針決定

令和元年度 更新計画策定、地元自治会と調整(検討会等)

令和2年度以降 樹木更新工事

道路・橋梁新設改良（道路整備課）

安全安心な市民生活と魅力あるまちづくりを支援し、機能的な都市活動を支えるため、山形市道の新設・改良を行っていく。

事業路線

平成30年度 西部工業団地村木沢線ほか20路線（事業総延長 L=12,902m、うち完成延長 L=1,306m）

事業実施内容：調査・設計、用地買収、物件補償、道路改良工事、橋梁工事

令和元年度 西部工業団地村木沢線ほか20路線（事業総延長 L=12,546m、うち完成予定延長 L=341m）

事業内容：調査・設計、用地買収、物件補償、道路改良工事、橋梁工事

橋梁長寿命化（道路整備課）

市道橋梁は、高度経済成長期以降に多く架設されたことから、今後、老朽化した橋梁が増加することが見込まれている。管理橋梁の安全性の確保、長期的なコストの縮減、更新を含めた管理費用の平準化を図っていくため、平成24年度に『山形市橋梁長寿命化修繕計画』を策定した。本計画に基づき、従来の事後保全型管理から予防保全型管理へ転換することにより、市道橋梁の長寿命化を実施していく。

平成24年度 長寿命化修繕計画策定(350橋)

平成25年度～平成29年度 計画の公表及び橋梁補修設計・工事に着手

橋梁補修等設計（69橋）・橋梁補修工事（37橋）・橋梁点検診断（357橋）を実施

平成30年度 長寿命化修繕計画更新（362橋）・橋梁補修等設計（23橋）・橋梁補修工事（21橋）

令和元年度以降 橋梁補修等設計・橋梁補修工事・橋梁点検

河川（河川整備課）

山形市内を流れる河川はすべて最上川水系であり、立谷川、村山高瀬川、馬見ヶ崎川、竜山川、本沢川をはじめとする一級河川、準用河川、普通河川は、すべて本市を縦断する一級河川須川に流入し、さらに一級河川最上川に合流している。

1 市内河川の現況

区分	河川数	河川延長	主な河川名
一級河川	31	152.2 ^{km}	須川、立谷川、村山高瀬川、馬見ヶ崎川、竜山川、本沢川 など
準用河川	8	9.5	八竜川、白神沢川、荒神川、王川、不動川、飯塚川、祓川、貴船川
普通河川	81	207.1	旭川、戸沢川、大塩沢川、熊野川、一度川 など
計	120	368.8	

2 河川改修

(1) 国、県管理の河川整備促進

須川、馬見ヶ崎川及び村山高瀬川など一級河川の河川改修の促進について、国、県に対して要望している。

(2) 準用・普通河川などの整備

準用・普通河川については河川の現況調査を実施し、緊急度に応じ整備している。

(3) 洪水ハザードマップ普及促進事業

都市型集中豪雨などによる河川氾濫被害に備えるため、山形市洪水避難地図（洪水ハザードマップ）の作成、配布を行っている。また、水防法の改正により、国及び県から新たに公表された洪水浸水想定区域を基に、現行の洪水ハザードマップの改訂に着手している。